

# いか焼きプレス機

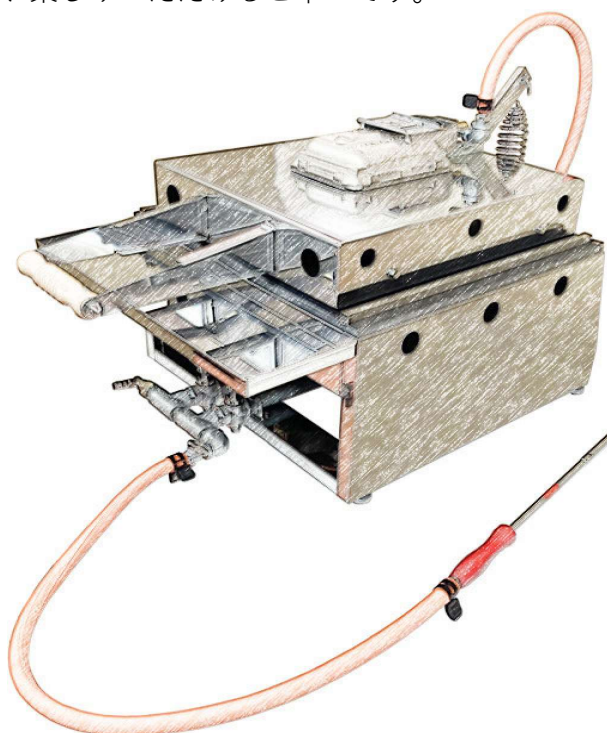
## 取扱説明書

2023年 1版

### はじめに

この度は、三宝ステンレス工業式いか焼きプレス機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書にはいか焼きプレス機の正しい使い方や、安全に関する重要な情報が記載されておりますので、ご使用になる前に必ずよく読んで理解していただくようお願い申し上げます。記載事項については、全て遵守していただくことが大切でございますので、安全で快適ないか焼き作りができるよう、取り組んでいただきながらこのいか焼きプレス機をお楽しみいただけると幸いです。



この取扱説明書は、いつでも参照できるように手元に置いて大切に保管してください。もし本品の使用者や管理者が変わる場合は、新しい使用者や管理者にこの取扱説明書を読むことを強く推奨し、本品の正しい使用方法を伝えて指導してください。これにより、理解が深まり、安全で効果的な使用が可能となります。

## 目 次



P2	<b>◆必ずお守り下さい! (安全上の注意)</b> ・ 危害、損害の区分 ・ 注意、禁止の絵表示	P5	<b>◆設置時の注意事項</b> <b>◆使用前の注意と確認事項</b>
P3	<b>◆特に注意してください。</b>	P6	<b>◆使用方法</b> <b>◆点検とお手入れ</b> ・ 点検とお手入れ時の注意 ・ 点 検 ・ お手入れ
P4	<b>◆器具の仕様</b> <b>◆各部の名称</b>	P7	<b>◆故障・異常時の処置方法</b> <b>◆点検・修理の依頼について</b> ・ 点検・修理を依頼される前に ・ 移設される場合

## 必ずお守り下さい! (安全上の注意)

安全に正しく使用して頂く為に必ずお読みください。

次のような区分や表示は使用する方や他の方への危害又は財産への損害を未然に止める為のものです。重要な内容ですので、必ずお守りください。

### ■危害、損害の区分




	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをされますと、人が死亡または重傷を負う危険があります。その他、火災が切迫して生じることが想定されます。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをされますと、人が死亡または重傷を負う危険があります。その他、火災が生じることが想定されます。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると人が傷害を負う可能性及び、物的損害が発生する可能性が想定されます。

### ■注意、禁止の絵表示

	<b>必ず守る</b>		<b>禁止</b>		<b>火気禁止</b>
	<b>火災注意</b>		<b>高温注意</b>		<b>接触禁止</b>

## 特に注意してください。

### ■ガス漏れに気がついたときには

 <b>危険</b>		絶対に火をついたり、電気器具(換気扇など)のスイッチを入/切しないでください。
		電源プラグの抜き差しをしたり、周辺で電話を使用しないでください。
		<b>すぐに使用をやめる！</b>
		①火を消し、ガス栓を閉めてください。
		②窓や戸を開け、ガスを外に出してください。 ③お買い上げの販売店または、ガス供給会社に電話してください。

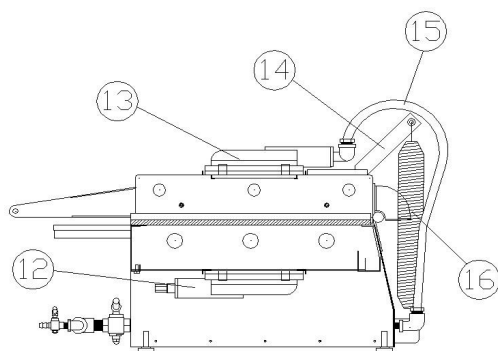
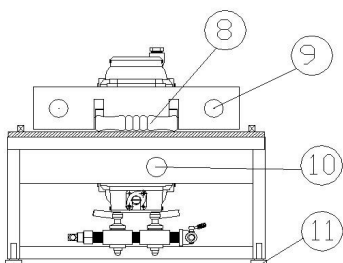
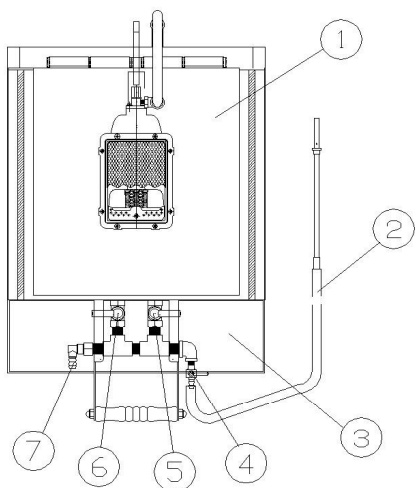
 <b>警告</b>		● <b>ガスの種類を確かめてください。</b>
		使用前に器具銘板に表示しているガスの種類が合っているか確認してください。
		※不完全燃焼により一酸化中毒を引き起こしたり、火災や故障の原因になります。
		● <b>火をつけたまま離れないでください。</b>
		使用中は正常に燃焼しているか時々、確かめて下さい。
		● <b>火傷に注意して下さい。</b>
		使用中や使用直後は器具が大変高温になっていますので、直接触れないで下さい。
		● <b>換気には十分注意してください。</b>
		換気口（給気、排気）は常に確保して下さい。物を置いたり、ふさいだりは絶対にしないで下さい。
		※不完全燃焼による一酸化炭素中毒（CO）の危険があります。
		● <b>火災に注意してください。</b>
		器具の周囲に可燃物（ガソリン、ベンジン、スプレーなど）を置かないで下さい。 爆発のおそれがあります。
		● <b>機械の底に可燃物を敷かないでください。</b>
		プレス機械底には、新聞紙などの紙類、木製類など燃えやすいものは敷かないでください。火災のおそれがあります。
		● <b>使用後は必ず、ガスの元コックを閉めてください。</b>
		器具のコックを閉めてから元コックも必ず閉めてください。 ※長期間、使用しない場合は元コックからホースを外してください。
		● <b>異常なときには使用をやめてください。</b>
		ガス漏れをしている、悪臭がする時や天災の時はガスの元栓を閉め、窓などを開け電気のコンセントやスイッチなどは絶対に触らず、早急にガス供給会社に連絡して下さい。

# 器具仕様

製品名	イカ焼き機			
型式名				
外形寸法（mm）	W413×D468（本体部）×H345			
鉄板（上下）	9mm			
ガス消費量	13A	3.72kW	LPG	3.06kW
ガス接続口	13A	13mm	LPG	9.5mm
点火方式	マッチ点火			

# 各部の名称


1	上部加熱用箱	9	上部前穴
2	点火棒	10	下部前穴
3	カス受け	11	アジャスト
4	点火棒用元コック	12	下部遠赤外線バーナー
5	上部バーナーコック	13	上部遠赤外線バーナー
6	下部バーナーコック	14	開閉蝶番
7	ホース接続口	15	ゴムホース
8	上部取手	16	開閉用スプリング



## 設置時の注意事項

 <b>注 意</b>		設置は専門のガス工事業者で行ってください。 正しく設置しないとガス漏れや爆発を引き起こす危険性があります。
		落下物の危険があるところ付近には設置しないでください 火災になるおそれがあります。
		器具は水平に設置してください。 水平に設置しなければは均一な熱分布がとれず故障の原因になります。
		樹脂製の照明器具の下に設置しないでください。 照明器具が変形することがあります。
		付近に燃えやすいものがある所には設置しないで下さい。 (紙、布、木材、化学薬品など)
		強い風の吹き込む所には設置しないで下さい。 特にスポットクーラーや給気の風が当たる所は避けて下さい。
		器具の上には棚などを取り付けしないでください
		階段、非常口付近、屋外には設置しないでください。
		ゴム管の接続時にホースバンドを必ずつけてください。
		ゴム管はガス用を用い、折れたり、ねじれが無いように出来るだけ 短くし器具の下を通したり器具に触れたりしないようにしてください。
		離隔距離はゆとりをもってください。 前後、左右50cmの離隔距離を保ってください。

## 使用前の注意と確認事項

 <b>注 意</b>	装着部品が全て確実に固定され装着されていることを確認してください。 また、各部品に損傷がないかも確認してください。
	器具付近に燃えやすいものがないかなど、器具周辺を確認してください。 燃えやすい物とは火花や高温に触れるとすぐに燃え上がる可能性のある ものを指します。(紙、布、木材、化学薬品など)
	換気設備(給気、排気)が正常に運転しているか確認してください。 適切な痛風がとれているか確認してください。


## 使用方法

1	ガスの元栓を開いてください。
2	点火棒の元コックを開き、点火棒に着火してください。
3	上部前穴から点火棒を差し込み、バーナー表面に火を当ててから上部バーナーコックを開いてください。
4	上部バーナーに点火できたかを確認してください。 ※点火できていない場合は直ぐにコックを閉めてください。 ガスが充満して危険です！
5	上部前穴から点火棒を差し込み、バーナー表面に火を当ててから上部バーナーコックを開いてください。3と同じ確認をしてください。
6	遠赤外線については【赤外線バーナーユニット】の説明書をご参照ください。

## 点検とお手入れ

### ●点検とお手入れ時の注意

ガス漏れによる事故や器具の故障または、劣化などによる異常を未然に防止する為点検とお手入れは定期的に必ず、行ってください。

 <b>注意</b>	点検、お手入れ時は必ず、元栓を閉じ器具が十分に冷えてから行ってください。本体には直接、水をかけないで下さい。
	故障又は、破損した場合は使用しないで下さい。
	点検・お手入れ時は手袋などを着用し、素手では行わないでください。 手を切るなどの怪我をするおそれがあります。

### ●点検

①	各部品とも正しくセットされているかを確認してください。
②	器具に破損や不具合がないかを確認してください。
③	器具設置場所周辺に可燃物及び、障害物がないかを確認してください。

### ●お手入れ

①	カス受けは、油汚れを放っておくと不衛生になり、火災原因になります。 ※お客様ごとに清掃してください。
②	バーナー及び、その周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので、
③	汚れたら、清掃して下さい。
④	器具内部は油や炭水化物が固着しやすいので毎日、清掃して下さい。

## 故障・異常時の処置方法

- 使用中に普段と違う状態になった時や、不都合が生じた時は、そのままお使いにならずに直ちにご使用を中止して十分に点検し、適切な処置をしてください。

状況	考えられる原因	対策
ガスの臭いがする	1.ガス接続が不完全 2.ゴムホースが割れている 3.バーナーの炎口が詰まっている	1.ガス接続を確実にする 2.ゴムホースを交換する 3.バーナーの炎口を清掃する
点火しない・しにくい	1.ガスの元栓の開きが不十分 2.ガス管内に空気が残っている 3.器具のガス種と合っていない 4.器具栓のcockの開きが不十分 5.バーナーの炎口が詰まっている 6.LPガスがなくなりかけている 7.赤外線バーナーが濡れている	1.ガスの元栓を全開にする 2.点火操作を繰り返す 3.使用中止！ガス種の合った器具に交換 4.cockを全開にする 5.バーナーの炎口を清掃する 6.新しいボンベと交換する 7.バーナーを乾かしてから点火する 点かない場合はバーナーを交換する
上部箱が上がらない	開閉スプリングが伸びている	スプリングを交換する
点火棒に火が点かない	点火棒に油かす等が詰まっている	点火棒の清掃又は交換
箱に点火棒を入れた時に「ボン」と一瞬、火が噴いた	先にガスcockを開きませんでしたか？ 箱の中にガスが充満していた時に起こる現象です。	正しい使用方法で点火する

※上記の点検を行っても依然として不審な点がある場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。

## 点検・修理の依頼について

### ●点検・修理を依頼される前に

①	点検・修理を依頼される前に「故障・異常時の処置方法」をもう一度ご確認ください。それでも不具合な場合又は、ご不明な場合は販売店にご連絡下さい。
②	点検・修理を依頼される場合は以下のことをお知らせ下さい。 ■ガスの種類 ■氏名、住所、電話番号 ■現象（詳しく） ■製品購入日、訪問希望日及び、時間帯

### ●移設される場合

移設によって、ガスの種類が変更することがあります。その場合は必ず、販売店又は、専門のガス工事業者にご連絡下さい。＜費用は有料です。＞

